

## 令和6年度西成区区政会議 第2回にぎわい部会 会議録

1 開催日時 令和6年8月5日(月曜日) 14時20分から15時35分まで

2 開催場所 西成区役所4階 4-6・8会議室

### 3 出席者の氏名

#### 【区政会議委員】

小林 大悟議長、鈴木 貴子副議長、伊藤 由佳委員、庄野 秀次委員、  
福山 修委員、宮本 浩委員

#### 【西成区役所】

臣永 正廣(区長)、野口 浩(副区長)、森 浩一(保健福祉担当部長)、  
得能 邦彦(総務課長)、石田 淳也(総合企画課長)、式地 光雄(まちづくり推進担当課長)、  
北野 陽一(市民協働課長)、大場 博美(保健福祉課長)、佐野 さとみ(福祉担当課長)、  
西川 志保(区政推進担当課長代理)

### 4 委員に意見を求めた事項

- (1) 身近なテーマでの議論について
- (2) 令和6年度西成区運営方針の取組みについて

### 5 議事内容

【西川区政推進担当課長代理】 それでは、定刻でございますので、ただいまより令和6年度西成区区政会議第2回にぎわい部会を開催いたします。

本日、ご出席の皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めます西成区役所の西川でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、まず、会議に先立ちまして、事前に送付させていただいております会議資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目、令和6年度西成区区政会議第2回にぎわい部会と書かれた次第でございます。次に、令和6年度西成区区政会議にぎわい部会名簿。次に、資料1-1、区政会議の議論のテーマについて。次に、資料1-2、横長で右肩をホチキス留めしております頭にSNSの利用率についてと書かれたものでございます。次に、資料2-1、令和6年度西成区運営方針。次に、資料2-2、横長、右肩ホチキス留めの令和6年度西成区運営方針（補足説明資料）と書かれたものでございます。次に、意見票、1枚ものとなっております。以上でございますが、不足等がございましたら挙手をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、確認事項を何点か申し上げます。

本日の会議につきましては、条例で定める委員定数の2分の1以上の委員のご出席をいただいております。開催の要件を満たしていることをここにご報告させていただきます。

また、この会議は公開となっておりますので、ご了承のほどよろしくお願いたします。

議事録を公開するまでの間、本会議を録音したものをYouTubeにて公開いたします。ご了解のほどよろしくお願いたします。

なお、本日報道機関の取材はございません。会議中ご発言いただく際は、なるべくゆっくりはっきりとお話しいただきますようご協力をお願いいたします。

確認事項は以上でございます。

それでは、開会に当たりまして、西成区長の臣永よりご挨拶を申し上げます。

【臣永区長】 皆さん、改めましてこんにちは。

令和6年度の第2回西成区区政会議にぎわい部会の開催に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、そして折からの猛暑の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃より地域のためにご尽力いただいておりますこと、この場をお借りして感謝を申し上げます。

先ほどはフィールドワークにご参加をいただきました皆様、大変お疲れさまでございました。というより大変な役得であったと思います。今回は大阪フィル様のフルオーケストラの練習の様子を見学させていただくという、通常ではなかなか体験できない貴重な機会をご提供いただきました。福山様、大変ありがとうございました。

西成区は来年、区制100周年を迎えますので、この機会にますます地域の宝である大阪フィルさん、セレッソさんなどと連携を深めていければと思っております。区民の皆様と共に区制100周年をこれからどんどん盛り上げていきたいと思っておりますので、引き続

きご協力をお願いいたします。

本日は、今年度2回目のにぎわい部会ということで、令和6年度西成区運営方針の取組みについてご説明をさせていただきまして、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただきたいと思います。また、委員の皆様を選んでいただきました身近なテーマで議論を行っていただきます。活発な議論となることを期待しております。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

【西川区政推進担当課長代理】 それでは、次に、委員の方々をご紹介します。

配付しております委員名簿をご覧ください。

本日、伊藤委員がウェブで参加いただくことになっておるんですけども、機械の調子が、今つながっていませんが、後ほどまた伊藤委員につながりましたら、ご紹介させていただきます。

それでは、小林委員でございます。

【小林委員】 よろしく申し上げます。

【西川区政推進担当課長代理】 庄野委員でございます。

【庄野委員】 庄野です。よろしく申し上げます。

【西川区政推進担当課長代理】 鈴木委員でございます。

【鈴木委員】 鈴木でございます。

【西川区政推進担当課長代理】 福山委員でございます。

【福山委員】 福山でございます。

【西川区政推進担当課長代理】 宮本委員でございます。

【宮本委員】 宮本です。よろしく申し上げます。

【西川区政推進担当課長代理】 次に、区役所職員の紹介でございますが、職員につきましては配付しております名簿をご確認いただきますようお願いいたします。

本日は、この会議に先立ちまして、フィールドワークを実施しましたけれども、ご参加いただきました皆様、お疲れさまでございました。

議事に入ります前に少しお時間をいただきまして、フィールドワーク、大阪フィルハーモニー交響楽団のオーケストラの練習見学に関するご説明、少ししていただきたいと思っております。大阪フィルハーモニー協会の福山委員よりお願いしたいと思います。

【福山委員】 大阪フィル、福山でございます。先ほどはお忙しい中、区長をはじめ、職

員の皆様、そして委員の皆様方、ご見学いただきまして誠にありがとうございました。

冒頭少しお話をさせていただきましたが、少しだけ本日の練習につきましてお話をさせていただきますたいと思います。

隣の練習場ですけれども、1991年に出来上がりまして、33年、練習をさせていただいております会場をご見学いただきました。あのような形で、途中で止まったりということで演奏を鑑賞していただくという形ではなかったんですが、逆にどのような練習で本番に臨んでいるのかというのを、非常に感じていただけたんじゃないかなというふうに思っております。

今日の練習は、明日、東京に移動しまして、東京の新宿にありますオペラシティというところで演奏する演奏会の練習だったんですけれども、明日の演奏会は、来年に控えております2025年大阪・関西万博のプレコンサートということで、大阪・関西では万博というのはもう目の前に来ているというのは、皆さんも感じておられるところなんですが、東京ではいまだに間に合うんかいなと、会場できていないんじゃないか、できるんかというようなところがまだまだありまして、大阪フィルハーモニーは創立以来、三井住友銀行さんのバックアップを大きく受けておりまして、この三井住友銀行さんがこの万博のプラチナパートナーということで、要はスポンサーですね。大口のスポンサーということで、東京で機運醸成しろという依頼が万博協会からありまして、それで銀行さんにはお金を出していただいて、大フィルがわざわざ東京へ行って機運醸成というコンサートになっております。

今日聴いていただきました練習の曲、冒頭に大阪出身のコブクロというアーティストさんが作曲されたテーマ曲を、今日は聴いていただきまして、その後、外山雄三さん、去年92歳で亡くなられた日本を代表する指揮者であり、作曲家の方が作られた曲を聴いていただきました。その後、皆さんよくご存じのベートーベンの運命ということで聴いていただいたんですけれども、今日、最初の2曲、ベートーベンの運命はよくやっているんですが、最初のコブクロさんの曲、それから外山さんの曲は初めて音を出しましたので、たったあれだけの20分ずつぐらいの練習でもう本番やるのかなというふうに驚かれたと思うんですけれども、いきなりああいう感じの音を出すんですね。当然、楽譜は事前にメンバーに配っていますので、個人個人楽譜は自分でさらっていて、当然それはちゃんと吹ける状態で今日初めて合奏をして、なので、ばあっと最初通して、もう一回、今日、指揮者はうちの音楽監督の尾高忠明だったんですけれども、ここはもうちょっと強くとか弱くとか、

ちゃんとテンポでとかニュアンスを伝えたら随分変わったと思うんですね。どんどんどんどん変わっていく様子をご覧いただけたんじゃないかと思えますけれども、あのような形で年間100回ぐらい演奏会やっていますので、練習は事前に自分のポジションは完璧に仕上げ、合奏はもうああいう感じでてきぱきやっていくという感じでやります。

明日は東京の聴衆に、この西成でつくった大阪フィルの音を存分に楽しんでいただいて機運醸成につなげていければと思っております。今日は本当にどうもありがとうございました。

もし、時間があれですけれども、ご感想とか何か質問等、もしございましたら、今、お答えしたいと思います。よろしく願いいたします。

【西川区政推進担当課長代理】 ご質問等いかがでしょうか。おありでしたら挙手をお願いいたします。よろしいですか。

そしたら、また福山委員、この後会議ご参加いただきますので、終わられた後でももし何かあれば、お声かけていただいたらお答えいただけるかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、ウェブでご参加いただく伊藤委員のほうつながりましたので、ご紹介させていただきます。伊藤委員です。

【伊藤委員】 伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

【西川区政推進担当課長代理】 ありがとうございます。よろしくお願い致します。

それでは、これより議事に入らせていただきます。この後の議事進行につきましては、議長にお任せしたいと思います。小林議長、よろしくお願い致します。

【小林議長】 それでは、早速進めさせていただきます。お手元の次第に沿って進めてまいりたいと思います。

では、議題の1、身近なテーマでの議論について、事務局から説明をお願いいたします。

【得能総務課長】 西成区役所総務課長の得能でございます。いつもお世話になっております。

それでは、私のほうより、議題1身近なテーマでの議論についてのご説明をさせていただきます。座ってご説明させていただきます。

お手元の資料1 - 1をご覧ください。

こちらは、6月28日に開催いたしました第1回にぎわい部会の際、皆様から頂きましたアンケートの結果、一番希望が多かったテーマである西成区の情報発信についてを選定

させていただきます。四角囲みの部分に議論の具体例を示しております。

西成区役所では区民の皆様へ、区政、市政に関する事業施策や地域に密着した生活情報のほか、西成区の魅力や文化、観光、イベント情報などを広報紙やホームページ、SNSを活用して広く情報発信しております。特に、市民生活に必要な情報は広報紙やポスター、チラシ、町会の回覧などの紙媒体によりお知らせしておりますが、資源には限りがあること、また作成から実際に情報が伝わるまでには時間がかかることもあり、より多くの情報やタイムリーな情報につきましてはホームページやSNSで発信しております。こうした状況も踏まえまして、お手元の資料1 - 2をご覧くださいませでしょうか。

こちらは、議論の参考にご用意させていただいたものです。簡単にご説明させていただきます。

SNSの利用率は、全世代でLINE、ユーチューブの順で高くなっております。また、70代につきましてもLINEとユーチューブの利用率が高い状況でございますが、そのほかのSNSの利用率は低い状態となっております。

2ページをご覧ください。

こちらは、子育て情報の収集方法についての子育て世帯への聞き取り結果に関する資料です。アンケートの対象は就学前のお子さんがおられる子育て世帯で、主に20代から30代を中心とするお母さん方です。この資料からは約3割の人がLINEにより情報を得ていること、ネット検索やインスタグラム、区ホームページから情報を得ている人が9%であること、2割近くの人が紙媒体から情報を得ていることなどが分かります。

次に、3ページ、4ページをご覧ください。

こちらは西成区役所が取り組んでいるSNSによる情報発信です。順番に情報発信ツールの画面を前のスライドに映し出します。こちらをご覧くださいながらご説明させていただきます。

まず、LINEについてでございます。大阪市LINEを活用して西成区の情報発信しております。情報を希望するカテゴリー、例えば、防災、妊娠出産、文化芸術、観光などを選択することで欲しい情報が届きます。前の画面には、妊娠出産のカテゴリーを登録している方向けに配信したマタニティスクールのお知らせと、文化芸術、観光のカテゴリーを登録している方向けに配信したアートイベントのご案内の内容でございます。

続きまして、インスタグラムでございます。2ページ目にもお示ししておりますが、昨年度、子育て世帯向けに行った聞き取り調査を受けまして、今年4月から運用を開始い

たしました。画面に映し出してありますように写真や動画で情報の発信を行っております。

続きまして、エックス、フェイスブックについてでございます。エックス、フェイスブックにつきましても、ご覧のような形で区政情報を発信しております。こちらはエックスになります。エックスにつきましては、文字数制限がございますため、リンクを張りつけるなど工夫をして投稿しております。こちらはフェイスブックの投稿内容となっております。

最後に、ユーチューブに参ります。こちらは特殊詐欺の防止に向けた寸劇動画などを配信しております。また、区政会議の様子も議事録を公開するまでの間、こちらで公開しております。前回のにぎわい部会の様子も西成区ホームページのリンク先からご覧いただくことができます。ご覧の形で現在、公表しております。

続きまして、お手元の資料5ページをご参照いただきますようお願いいたします。

こちらのほうには、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に、エックスの閲覧数の上位4ポストを示したものでございます。一般的には、画像がない文字だけのポストは閲覧数が少なくなる傾向がございます。

資料1 - 2につきましても、以上でございます。

このほか、少し話はそれますが、区政委員の皆様に向けまして、月1回程度メールなどによりまして、区役所からのトピックス的なお知らせをお送りさせていただいておりますが、届いておりますでしょうか。既に広報紙やホームページ、SNSなどを通じてご存じいただいている情報もあるかとは思いますが、ぜひ区民の皆様を知っていただければというような情報を、時々ではございますが今後もお送りさせていただきたいと思っておりますので、身近な方々などにも口コミやSNSによる拡散などを、それぞれ皆様が行いやすい方法でお伝えいただいたりしますと大変ありがたいと思います。

それでは、皆様の活発なご議論、意見交換をよろしくお願いいたします。

【小林議長】 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様からいろいろとご意見をお聴きしたいと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

ちなみに、先ほどの区政会議はユーチューブで公開されていますか。

【事務局】 ホームページから。

【小林議長】 ホームページから入れば。分かりました。

いかがですか。お願いします。

【庄野委員】 こんにちは、庄野です。

今、いろんな情報の発信ということで、大阪市とか西成区役所のほうからは、いろんな情報の発信、すばらしい発信されていると思いますけれども、ちょっと受け取る側の環境がなかなかそろっていないと。実際我々世代もSNS一応環境的にはある状態なんですけれども、大阪市のホームページから、例えばどういうふうに進んでいったらええかということ、なかなか分かりにくいところがある。リンクで閲覧の補助サイトなんかでは、文字にルビを打つような、そういったタップしたらもう文字が出てくるとか、あとは読み上げる機能があるとか、そういったことがあるんですけども、そういったところなかなかたどり着かないと。それは、それぞれの個人のレベルの差があるので分かりませんが。そういったことのやり方とか、そういったことを、区役所のショートチューブなんかでやり方を伝えていくとか、それにまた、うちのこのキャラクターのジャガピーくんを使うとか、さっきの映像では塗り絵塗っているようなやつがあったんですけども、あれなんか大変よかったと思います。

それから、あとは受け取る側の場合としての情報弱者の方、こういった環境を持っていないとか、そういった方に対してどういった情報を伝えるかということ、やっぱりそれは広報紙になってくるかと思います。ところが現在、西成区は広報紙全戸配布ではないと。世帯数が6万5,000ぐらいですか、その中で配られているのが2万5,000部ぐらいですかね。ということは実際、全戸数に配られていない。配布方法が朝刊5紙プラス希望者ですか。ということで、なかなか本当の情報の弱者にそういった情報が伝わりにくい状況になっておるんで、できたら、「にしなり我が町」全戸配布にさせていただきたい。そういったことをすることによって、情報弱者の方がいろんなサービスをきっちり受けられたり、また必要な事務手続をすることができたりするんじゃないかと思います。

以上です。

【小林議長】 ありがとうございます。

今の庄野委員のご意見に対してでも、何かございますか。ありますか。

【鈴木副議長】 おっしゃっていただいていたのは本当にそのとおりだなと思って、お伺いしました。なかなかSNSでの情報発信でいうと、ずっと継続的に見てもらおうと思うと何か面白いものがないと、そこを見なくなってしまうというか、LINEで来ていても情報として飛ばしていつてしまう人も多いので。であれば、さっきおっしゃっていた、ジャガピーという、そのキャラクター人気ありますよね。そうでもないですか。うちの職場

にはすごい大好きな人がいて、ジャガピーが何かしゃべってくれるとか、あのイラストが動いているものが定期的に配信されるとかいうだけでも、それを好きな人は継続して見ていこうなというふうに思うので、ジャガピーが説明してくれるとか、何かそれだけでもすごく楽しい、継続的に見てもらえるサイトになっていくんじゃないかなというの思うんです。そんなものじゃないかなSNSってというふうに思っています。

あとは、やはり検索、基本的にやっぱり行政情報は検索されるものじゃないかなというふうに思っていて、地域で何かしているものが検索したら必ず出てくるとなっていると非常に便利だなと。さっきのエックスでもトップにあったのはやっぱり地域の情報ですよ。今すぐに知りたい、身近な中での防災情報がトップになっているというふうに思うので、何かそういうものとか、あとは、おっしゃっておられた地域の広報紙の情報も一つ一つ検索をかければそれが出てくるようになっていて、検索かけてみたいと思うんじゃないかなと。

どのぐらい、ごめんなさい、私もちょっと試したことはないので分からないんですけども、「にしなり我が町」に載っている情報も、たくさんのイベントとか載っていると思うんですけど、その名前で検索したら最新の情報が出てくるのかなあと。割と調べたいときにぱっと見たら、結構古い2020年とかの情報しか検索かからないということがあったりするなという気がして、知りたいときに検索をかけたらずぐ出てくるというのが、情報としては非常にありがたいかなという。SNSもそうなんですけれども、きっとみんな検索をたくさんして、特に高齢者の方なんかはどちらかというと、検索をかけているんじゃないかなという気がするので、何かそういう使い方で引かかるような情報の出し方がいいんじゃないかな、非常に助かるんじゃないかなという気がいたします。

【小林議長】 ありがとうございます。

私はSNSは全て西成区のはフォローさせていただいているのと、仕事柄、区役所のホームページのお知らせの部分も週に二、三回は開いて確認しているんですけども、あと紙媒体ももちろん目を通してはいるんですけども、そうですね。あと仕事柄、子どもと子育て世帯と高齢者と生活困窮状態の若い人に関わる機会も多いんですが、やっぱり子育て世帯は結構いるんなところに情報アクセスしている方が割合としては高いなというふうに感じます。学校のお手紙であったりとか、あとは何かしらの健診の案内であったりとか、見られているのかなというのがありますが、困窮状態の方とか、独り暮らしされている高齢の方とかというのは、やっぱり行政の情報に対して疎かったり、あまり興味がなかった

りする人が多いのかなというふうな印象ですが、給付金であったり、コロナがすごい激しかった頃、ワクチンみたいなことになったときは、もう皆さんすごく前のめりで情報収集されていたので、一定のインセンティブであったり、自分事として捉えていただいたら皆さん結構情報を取りにいく、アクションを起こして、かつ、そのアクションを起こしたら、一定もう今ネットであったりで、アクセスはしやすいような環境は整っているかなと思うので、行政の情報を知ることによって自分にとってプラスになったりとか、困ったときに役立つということをもっと知ってもらうことによって、皆さん、いわゆる情報弱者になりづらくなるのかなというのを一つ思いますね。

ほか、伊藤委員も全然画面越しでもおっしゃっていただければありがたいので、何かございますか。特にないですかね。はい。宮本委員、お願いいたします。

【宮本委員】 西成区から情報を発信するというところで、若い女性とか子ども、出生率が西成区は一番低いわけですよ。やっぱり簡単には若い人に来てくださいうてもなかなか大変だとは思いますが、それをやっぱりやっていかないと、今、西成区はおじさんの数がすごく多いんですよ。1万6,000人多いと広報紙で読んだことありますけれども。

この若い女性が住みやすい、また子どもが楽しく学べる、また遊べるまちということで、これは行政でやってもらうんでしょうけれども、我々も何かいいアイデアがあったら出していったりしないといけないかと思うんですけれども。私は一番情報発信の中で、この問題が一番解決しにくい面もありますんで、やっぱり何とかできるように我々微力でありませけれども、何か手伝いできる場所はお手伝いしたいと思います。

以上です。

【小林議長】 ありがとうございます。

子ども・子育てに関しては、また別の部会でも多分話されていると思うんですけれども、ちょっと私もチェックできていないので、内容分からないんですけれども、少しだけ私が知っている情報だけお伝えさせていただくと、この資料1 - 2で一番最後のページ、エックスのインプレッションの1位から5位のより多く発信されている中で、2位と3位に関しては、こちら西成区の独自の事業で、プレーパークという子どもの冒険遊び場を年間を通して定期的で開催しているというところと、今年度からは子ども体験活動企画という新しい事業で子ども向けのイベントというのを開催していたりして、これは私が知っている限りでいくと、大阪24区の中でもかなり特殊で独自の事業になっていたりで、こ

ういった情報をもっと多くの人、大阪市内全域、もしくは市外の人にも伝わることによって西成というのが子育てにとても力を入れているというのはこれは事実なので、ほかにもいろんな事業をやっていたりするんで、それを知ってもらうことによって、宮本委員がおっしゃっていたような、子育て世帯が流入してきたり、もしくは、若者世代がここで結婚して、子どもを出産して育てていくという道というのがもっと広がっていくのかなというのは、個人的には思いますね。ほか、福山委員、お願いいたします。

【福山委員】 意見というか感想ですけれども、本当にいろいろとSNSを活用して、いろいろと工夫していただいているなというふうに感じました。

先ほど、最終的にはこういう情報が世の中あふれている中で、やっぱり口コミというのはいまだに信頼性というか、あの人が言うんだったら間違いのないよねとか、行ってみようかなというのがあるので、もうされているとは思いますが、こういう例えば大阪フィルのようになっていきますけれども、こういったツイートをリツイートしていく、それをお願いしていくというのをもっともっと積極的にやっていただくと、そこから広がるツイートの広がりというのは一つの口コミみたいなものですから、さらにいいじゃないかなということと、あと、こういうイベントをされたときの感想をまたお願いして、ツイートしてもらうとかということをする、さらに生の情報というか、書いた人もそれを自分の書いたものを拡散してくれるでしょうし、さらに広がっていくのかなというふうに思いました。

以上です。

【小林議長】 ありがとうございます。

あと、以前の区政会議、初期の頃に大阪市のLINEアカウントについて教えていただいて、私もそれがきっかけで登録したんですけども。私の中であれ結構すごくありがたい情報で、あれって、最初登録のときにどの情報が欲しいかというのをチェックして、それに応じた情報が届くようになっているんですけど、よく別に行政とか関係なく、メールマガジンとかでいっぱい届くのはもう開くこともなく削除していたりとかすると思うんですけども、そうやってセグメントを絞って情報を出してくれることによって、大体届く情報というのは自分にとって興味のあることやから、そこで目を通してリンク開いてというのは結構増えたんで、これは今の若い人にも多分いいでしょうし、年齢問わず、先ほどのこの資料でいくと、全世代を通してLINEが圧倒的に強い媒体なのかなと思うんで、これがもっと知られて、かつ、便利なことを知ってもらうだけでも、大分変わるかなという

ふうには個人的には思いますね。

あと、そのLINEであったり、そういったものをどうやって広げるかという点に関しては、先ほど福山委員がおっしゃったとおり、まず我々が発信をしていくというところですが、すけれども、何かそれ以外にも、いいアイデアとかというのはあったりしますか。どうですかね。

ちなみに皆さんの周りで、西成を仕事柄、大体皆さんフォローしていますもんね、ツイッターとか。そうですね。一般的に、特に地域に触れずに暮らしている人が、こういう行政が出しているSNSであったり、情報にどう接触してくれるか、何かいいアイデアってありますか。

【鈴木副議長】 いいかどうかは別ですけれども、今はお知らせで終わっているものなんかやったら、そこを通じてもうちょっと一歩、ここから手続までできたりすると、そこにアクセスせざるを得ないというのはあるかもしれないなと思いました。

【小林議長】 ありがとうございます。

そうですね。あと使っていない方、SNSであったりを役所の登録をしていない方、フォローされていない方がなぜ使っていないかという点についてでいくと、例えば単身の若年層の方とあって、基本的には行政にあまりお世話になる機会が少なかったりするんで、そもそも私もこういう仕事をするまでは住民票を出すだけの場所とっていたんで、役所のこと。いろんな施策をやっていることを知らないし、知ったとて、ほんまに足運んでそれを利用しようかと思うのがあったりするんで、でいくと、やっぱり高齢の方であったり、子育て世帯の方とか、もしくは生活困窮状態の方とかがより知ってもらったほうがいいのかなと思うんですけれども。なかなか逆にそういう人らって、いわゆる情報弱者の人が多かったりするんで難しいな。はい。ありがとうございます。

あと、宮本委員、例えば視覚障がいをお持ちの方の場合って、いわゆるその情報を制限されている部分もあったりとかすると思うんですけれども、宮本委員自身は、どのようにしてふだん情報を収集されていらっしゃいますか。

【宮本委員】 私たち視覚障がい者は情報の障がい者でもありますので、当然目のほうから情報が入ってこないんですね。何せ新聞と雑誌、そういうものを見ることもできませんので、どうしても情報不足で何か取り残されているような感じもありますし、またスマホをお持ちの方なんかはやっぱりSNSも使ったりしているようなんですけれども、やっぱり我々が今、情報入ってくるとなると耳からしかないんですね。それで、我々の視覚障がい

者の団体であります大阪市視覚障害者福祉協会では、月1のジャーナルとか、会員のための広報なんかを、伝えてくれるんですね。それをメールでもらう方もありますし、音声にして再生して聞く方もありますし、点字ができる方はまた点字でそれを読むことができるんですけども、ある程度限られた範囲内の情報しかないんですね。

だから、よくヘルパーさんなんかはスマホを持っておられるんで、いろいろ情報なんかはお聞きしたりはしていますけれども、やっぱり見える、目から入らないというのは、やっぱりあんまり記憶に残らないんですよ。耳からだどうしてもね。幾つも入ってくると、やっぱり抜けていく部分もありますので、そのところがやっぱりつらいところです。以上です。

【ガイドヘルパー】 ちょっといいですか。

【小林議長】 はい。

【ガイドヘルパー】 私、今、今日は宮本さんのガイドヘルパーしているんですけども、ほかの方にも入るんですね。メーカーの宣伝したら駄目なんですけれども、iPhoneは音声で、「Hey Siri」じゃないんですけど、音声で皆さん、指でタップしたりとかして使いこなされているんですよ。あとパソコンも読み上げてくれるソフトがあるので、それで知っている方はエクセルだとか、ワードだとか、ワープロでそういうのをされているという情報はありますね。聞いています。

なので、本当に宮本さんたちの年代が一番情報難民なんですよ。見ていてね。私いつも結構入っているんで、情報提供はさせてもらっているんですけど、どちらかといったら、情報を仕入れられる方はいいんですけども、入ってこない方を、見ている私たちは助けてほしいなと思うんです。

【小林議長】 ありがとうございます。

ほかはどなたかございますか。

そうですね。やっぱり高齢の方にも普及したとはいえ、やっぱりICTの機械に関しては若年層のほうが、それはもちろんデバイスの普及率であったりとか、いわゆるリテラシーとかが高かったりすると思うんです。そういったときに紙媒体がやっぱり根本にあって、みんなに広く届くようになったらいいなと思ったりはするんですが、これ予算の都合なんですかね、それは。

【庄野委員】 多分、大阪市に予算請求したらいけるんじゃないかと思えますけれども、区独自の予算かどうか分からないですけどもね。

【小林議長】 まあ、行くところ行くところで、結構配架とか置かれていたりするんですけども、我々はやっぱり特殊な行動範囲なので。メトロの駅とかにも置いていたりするんですかね。

【庄野委員】 そうですね。置いていると思います。

【小林議長】 宮本委員の場合は、紙媒体でもなかなか難しいというところもあったりするんです。

【庄野委員】 ほかの区とかだったら、音声にしたCDを広報紙の内容を音声に落としたCDを希望者に渡したり、もちろん点字の新聞を希望者に配ったり、そういったことをやっているみたいですよ。

【小林議長】 西成はやっているのか。

【庄野委員】 西成さんはちょっとまだ分からないんですけども、市のホームページからいったら、西成のそういった区の情報とかを音声に変換できることはできますけれども、細かい西成独自のところはちょっと分からないです。

【小林議長】 お願いします。

【得能総務課長】 すみません。西成区総務課長の得能です。

ただいまご指摘いただきました広報紙の件なんですけれども、西成のほうで紙媒体の広報紙「にしなり我が町」に関しまして、1つが、広報紙の点字版というのを希望者に対して毎月送付させていただいております。2つ目が、ただいまご紹介いただいております音声版につきましても、希望者の方にCDに録音させていただいて、送付させていただいているというような、この2つの取組みをさせていただいております。

【庄野委員】 今、そういった取組みをやっていただいているということなんですけれども、せっかくやっていただいているのであれば、この広報紙の下のほうにも、そういったことをやっているのを一行を入れていただいたら、もうよその区の話ばかりなるんですけども、例えば阿倍野さんやったら、そういったことを入れているし、少しでもそういった情報をみんなに伝わるようにしていただいたら、ほんまに情報弱者の人も助かると思いますので、よろしくをお願いします。

【得能総務課長】 得能です。また、他の区の事例も参考にさせていただきながら、より広まるような形で取組み進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【小林議長】 ありがとうございます。私も全然知らなかった。今結構、アマゾンのオー

ディブルといって耳で読書するみたいなのとか、ながらで音楽、情報を仕入れるというのが増えていたりするんで、逆にそういうのは私自身もありがたいなと思ったりしますね。はい。

ほか、なければ、次の議題に移るんですけども、皆さんよろしいですか。

伊藤委員も大丈夫ですかね。

【伊藤委員】 はい。

【小林議長】 では、議題の2、令和6年度西成区運営方針の取組みについて、事務局から説明をお願いいたします。

【得能総務課長】 すみません。引き続きまして、総務課の得能と申します。

それでは、私のほうより、議題の2、令和6年度西成区運営方針の取組みについての説明をさせていただきます。

お手元の資料2-1の1ページをご覧ください。

こちらの上段に、「目標」「氏名」及び「所属運営の基本的な考え方」を記載させていただいております。

まず、目標といたしましては、「すべては子どもたちのために」をキャッチフレーズに、人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちを目指しております。

次に、令和6年度所属運営の基本的な考え方といたしましては、若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくるため、子どもの夢がひろがるまち、人と人がつながりにぎわうまち、みんなが安心して暮らせるまちを3本柱として施策を進めていくとしております。

このうち、にぎわい部会は、人と人がつながりにぎわうまちの担当となります。

次に、1ページの下段をご覧ください。

こちらが経営課題2、人と人がつながりにぎわうまちとなっております。

令和6年度予算額は、6つの事業で計1億2,000万円となっております。

まず、主な戦略といたしましては、(1)住みたいまち、行ってみたいまちにする、(2)地域の活動を支えてつながりをつくる、(3)誰もが活躍して輝けるまちにするの3つでございます。

次に、経営課題の進捗度合いを示したアウトカム指標といたしましては、いずれも区民へのアンケートによるもので、2つございます。

1つ目が「あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか」に肯定的な回答

の割合が令和9年度までに70%とすること、そして、令和6年度で57%とすることでございます。

2つ目が「身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進んでいる」と思う割合が、令和9年度までに89%とすること、そして、令和6年度で68%とすることでございます。

次に、資料2-2をご覧ください。

こちらは、令和6年度西成区運営方針における具体的取組を記載しております。

にぎわい部会につきましては、先ほども若干触れましたが計6事業となっております。

それでは、この6つの事業の中から、西成区文化観光振興事業と西成区地域福祉推進事業につきまして、それぞれ担当課長からご説明させていただきます。

それでは、西成区文化観光振興事業のほうからお願いいたします。

【石田総合企画課長】 総合企画課長の石田と申します。よろしくお願いいたします。着座にて説明のほうさせていただきます。

私からは西成区文化観光振興事業について、今年度の取組内容とその進捗状況についてご説明をさせていただきます。

資料の2-2の4ページ目をご覧ください。

資料の上段にございます、この事業は西成区の歴史、芸術文化等を生かし、にぎわいを創出するとともに、広く情報発信することで区民の方の西成区への愛着を深め、区外の方には魅力を感じていただくということを目的としております。

今年度の取組みでございますが、事業の目的の下に記載しております4つの取組みを主に進めております。

まず、資料の中央の左側、大阪フィルハーモニー交響楽団様と連携した取組みでございます。

進捗といたしましては、写真にもございますように、大阪フィルハーモニーの楽団員の方に区内小学校、中学校に出向いていただき、出前授業を実施いたしましたところでございます。内容はプロの生演奏に加え、楽団員がプロになるまでの経験談や楽器の魅力を伝えていただくワークショップを開催いただきました。また、6月には西成区役所と大阪フィルハーモニー様との間で包括連携協定を締結し、これまでの取組みと共に、区役所1階ロビーでの大阪フィルハーモニー交響楽団による演奏状況の放映、区の広報紙「にしなり我が町」や区SNS等による広報の連携、区民の方への鑑賞機会の拡大などを進めることとい

たしました。

進捗状況の3つ目でございますけれども、先ほどの鑑賞機会の拡大という方針に基づきまして、9月7日には、区内の小学校4年生から6年生及びその保護者等を対象として、大阪フィルハーモニー会館でのオーケストラ鑑賞会を開催予定でございます。

次に、その右側をご覧ください。

芸術文化活動を通じたにぎわい創出のイベントの取組みでございます。

これは、もと今宮小学校に残る陶芸窯や廃材、倉庫などを利用して、アートを媒介とした新たな出会いや出来事、関係性を通じて地域づくりや人材育成を目的としたイベントです。写真は、参加者が陶芸窯で作成した器を入れるための木箱を大学生が作成し、その器を木箱に入れて参加者にお渡ししている様子です。陶芸や木工などのイベントは、もと今宮小学校で月に1回から2回程度開催し、秋には芸術家が参加するイベントも実施する予定でございます。

左下でございます。小中学生向けの職業体験イベントでございます。

このイベントは地元企業にブースを出展いただき、小学生、中学生を対象に職業体験をしていただくというもので、西成区や近隣のこどもたち向けに地元企業の仕事を体験してもらい、働くことの大切さや面白さを感じていただくこと、地元に誇りや愛着を持っていただくことを目的としております。写真は、企業の加工品を使って迷路を作成している様子でございます。今年度の西成しごと博物館は、秋頃、区民センターで開催を予定しているところでございます。

その右側、新今宮エリアの魅力発信の取組みでございます。

この新今宮エリアの魅力発信は、新今宮エリアブランド基本戦略に基づき、新今宮エリアの魅力を発信する取組みでございます。昨年度は、この基本戦略に基づき構築した新今宮スタディツアーを民間主体の取組みとして自走化して、関係団体で有限責任事業組合を設立いただき、その設立を記念したイベントとして新今宮ワンダーランド2023を実施いたしました。新今宮エリアの魅力を発信するため、今年度も新今宮ワンダーランド2024を開催すべく、現在、ツアーを開催する有限責任事業組合と協議を進めているところでございます。

私からは以上でございます。

【得能総務課長】 それでは、続きまして、地域福祉推進事業につきましてよろしくお願ひします。

【佐野福祉担当課長】 いつもお世話になっております。福祉担当課長の佐野と申します。私のほうからは、西成区地域福祉推進事業についてご説明をさせていただきます。座らせていただきます。

目的といたしまして、地域で暮らす住民同士がつながりを持ち、支え合える地域づくりを目指すとしております。これは、区役所と社協、地域の各種関係団体や住民の皆さんと共に一緒に取り組んでいます、第2期西成区地域福祉計画の取組みとなります。

右側の真ん中の図をご覧ください。

第2期西成区地域福祉計画は、自分たちの住む地域を知ってもらう、関心を持ってもらう、周りに気にかけてもらうことで、気になることがあれば、誰かにつなぐ、相談する、解決するために話し合う、こういうことを大事にしていく計画になっています。

これを基に令和6年度の取組内容についてなんですが、地域活動へ参加するためのきっかけづくりと参加者の増加を図るとしています。区内には多くの方々の協力により、たくさんの居場所や活動できる場ができています。右下の写真は、地域で行われていますポッチャの様子を表しています。楽しく参加できるようなきっかけをつくり、参加者を増やしていきたいと考えております。

2つ目です。要援護者名簿を活用するための取組みとしまして、地域の見守り活動を地域にお願いしておりますが、災害時を見据えた地域の見守り活動の検討を行っていきたいと思っております。

3つ目です。複合的な課題を抱えた世帯の支援を話し合う場といたしまして「つながる場」と呼んでいるんですけれども、こちらで取り扱う事例の紹介を通じた情報発信や協力の依頼を行っていきます。

4つ目です。見守り活動やつながりづくりをテーマとしました地域福祉フォーラムの開催などを、今年度は予定しております。

進捗状況ですが、更新した要援護者名簿を各地域へ今、新しいものを渡しております。その中で、古いものを回収したりということをしております。これは8月中には全地域で完了する予定になっております。

2つ目です。「つながる場」についてなんですが、気になる世帯に気づいて、つなげることができるようにということで、区役所職員全員に研修を実施しております。

地域福祉フォーラムの内容については、現在協議中ということで、進捗状況の報告です。以上になります。

【得能総務課長】 議題の2、令和6年度西成区運営方針の取組みにつきましては以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

【小林議長】 ありがとうございます。

こちらに関しまして、委員の皆様、ご意見ございますでしょうか。

ちなみに、先ほどあがった新今宮エリアの魅力発信の実施のところの新今宮ワンダーランド2024は、今のところ、11月16日に太子公園で開催を予定しているというふうに、私は聞いております。また、多分近づいてきたら案内させていただきますので、よろしく願いいたします。これについてはいかがですか。お願いします。

【鈴木副議長】 文化観光振興事業の分、4つお伺いして、1つ目の大阪フィルハーモニー交響楽団と連携した事業については、今日、フィールドワークで私たちも体験させていただいて、ここに書いてあったので、じゃ、こどもたちがどんなふうを感じるのかなと思いつつながら今日は参加させていただいたんですけども。

やっぱり音がそろって、ああやって、いいハーモニーを聴くだけで感動するなという、参加して今日はすごく、最初のコブクロさんの曲は知りませんでしたけれども、後半なんてみんなの音が合わさってくるのを聴いていたら、すごくそれだけで気持ちがよくなるというか、それをすごく感じられて、そういう機会ってとても大事ななと思いましたのと、やっぱり練習風景を今日拝見したというのが非常に楽しかったというか、面白くて、皆さんがプロフェッショナルだなということを感じたんです。今日のあの場面を拝見して、ここからと、ぱっと何小節からと指揮者の方がおっしゃって、ずっとあれだけ大きな音で皆さんがそろって出されるって、ものすごいことだなというのを感じて、何か演奏会に来て演奏を聴くのではないすごさというか、それをあの場で非常に感じられて、すごく今日は、そういうところをこどもたち、何かそろってきれいに演奏されているところというよりは、さっきもおっしゃっていたように、楽器のよさであるとか、どういうふうにしてここまでこられたのかということを出前授業でしていらっしゃるということをお伺いして、そういうのがきっと、こどもたちの何かこれからの自分に響くんじゃないかと。それに加えて、すばらしい演奏を併せて聴かせてもらえるというのは、西成のこどもたちならではのすごいことだなというふうに感じました。今日はそれをすごくお伝えしたくて。

【福山委員】 ありがとうございます。

そうですね、ちょっと宣伝にもなりますけれども、今、先ほどお配りさせていただいたこの西成オーケストラ鑑賞会というのは、区長のおかげで連携協定を結ばせていただいた

ことで、初めて小学校のこどもたちということなんですけれども。今ちょっと申込みがまだ100もいっていない状況で、これ演奏会という形でやるので、ちょっと客席ががらがらだと何か寂しい感じになっちゃうので、ぜひ宣伝にご協力いただけたらなと思っています。

今日、体感していただいた方は、本当に感じていただいたと思うんですけれども、もうはっきり言って音楽を聴くとかじゃなくて、あの響きを体験しているという多分感覚だったと思うんですね。最後の運命なんか、ジャジャジャジャーンてみんなが知っているところなんですけれども、このスマートフォンでジャジャジャジャーンというのは幾らでもユーチューブで聴けますけれども、多分今日聴いていただいたジャジャジャジャーンは、何というか、音符というよりも音の塊が迫ってくる、大の大人があれだけ真剣にやるとあんな音が出るんだなと。パートごとに弦楽器だけで、バイオリンだけでもあれだけのすごい音が出て、あとラッパとか打楽器が入ってという、人間のすごさというか、人間があの音をあれだけ集まって作っているということの多分迫力が、もうそのクラシックとか、クラシックじゃないとかじゃなくて、音を作り出すというエネルギーで多分皆さん、今日感じていただいたところがあるんじゃないかと。

なかなかこういうのって言葉で難しいので、我々も、例えば今日の練習の一部分を今日スマートフォンで録画録音していただいて、それで今日初めてオーケストラ聴いたけれどもすごかったみたいなのでツイートしてもらおうとか、ちょっとでも何か生の興奮をうまくSNSも使えたらなとは思っているんですけれども、その辺、ぜひ皆さんからも、こういうのできますかとかアイデアいただいて、ご協力いただけたらうれしいなと思っています。

【鈴木副議長】 何か今日のもちょっとこういうのありましたと、西成区役所でツイートしていただいたら、それに感想を添えてリツイートを。

【福山委員】 そうですね。今日、すごい私もうっかりしていて、区役所の皆さんにちょっと撮っていただいて、ツイートしていただいたら非常によかったかなと思いました。

【鈴木副議長】 よかったんですか。

【福山委員】 撮っていただいてよかったというか、基本は駄目なんですけれども、宣伝目的で撮っていただいたりとかというのはやっていますので、これからもそういうのをちょっと、ぜひまた機会をつくらせていただければと思います。

【鈴木副議長】 続いて言ってもいいですか。

【小林議長】 どうぞ。

【鈴木副議長】 4つ目のワンダーランドは去年参加させてもらったんです。今の福山さんおっしゃっていた感じで、これねとってもよくて私すごい楽しかったんですよ。こんなことあるんだと、ものすごい発見があって。その感想をどこかで言いたかったんですけども、その場面がなかったんです。最後、何かアンケートは取っていただいたんですけども、それどこ行くのかなというのをちょっと思ったのと、そこで何か言いたくて、いや、その前に区政会議にも出ていたんで、何か私、発信せなあかなと思ってたんですが、自分の微力のあれじゃどうにもならなくて。

幾つかのパートに分かれていましたよね。分かれて見せていただいたから、その一つ一つを何か自分なりにフェイスブックとかで文章にしたらいかなと思ったんですけども、なかなかやっぱり写真を撮ってそれに添えるということが、個人では難しいところもあつたりしたので、何かそういう機会を、おっしゃっていたみたいに、何かこうどこかで上げておいてもらって、感想を書かせてもらえたりすると、書きたい人は書きたいかなというふうに。何かもうちょっと言いたかったんですよ、よかったから。

【福山委員】 そうですね。うちの広報が撮って、それをツイートして、それをリツイートしていただくのが割と簡単かもですね。

【鈴木副議長】 そうですね。

【福山委員】 もちろん区役所の職員の方にやっていただいてもいいですし、素材を作るころはやっぱりちょっとハードル高いと思うので、作ったものを、そこに感想をつけて、今日、これを私も聴きにいらっていて、すごいよかったと張りつけて、そこで音が出たりとかすると面白いですよ。

【鈴木副議長】 はい。そういうふうにしてもらえたら、ありがたいなと思いました。

もう一つ言っていいですか。

【小林議長】 はい、どうぞ。

【鈴木副議長】 3つ目の職業体験イベントは秋にやるんですか。秋とおっしゃっていましたよね。

【石田総合企画課長】 秋です。

【鈴木副議長】 夏休み中にはやらないものですかね。何か、要らんことですかね。何か夏休みのほうが参加しやすい、そんなこともないんですか。

【小林議長】 私、共同体の中で西成区体験活動企画及びプレーパーク事業を受託している者の経験則としては、夏休みの場合、平日に実施する場合、やはり結構子育てのお母さ

んも、お父さんも、シングルマザーかって、シングルファーザーかって、両親とも仕事をしている場合が多く、平日開催となると、まず小学生の参加が劇的に少なくなってしまう傾向にある。土日であれば保護者の方に連れてきてもらえるというところで参加者数が多くなるんで、夏休みに開催するとて土日が望ましいかなというふうに思ったりしますし、もともと私、学童で働いていたので、夏休みの場合は家族で出かけていく確率も高くなっていたりするんで、割とやっぱりこういうイベントはあんまり見ないかなというのは、私の経験としてありますが大丈夫ですかね。こんな感じです。

【鈴木副議長】 よく分かりました。ありがとうございます。そのぐらいです。

要らんこと一つ言っているんですか。

さっきSNSのときに言い忘れたんですけれども、西成区役所の保健師さんたちが動画配信されたりしていますよね。あれ、とてもいいなと思って拝見していました。何かとても身近に感じられて、窓口とか何か行きやすいなと。実際にその場にいらっしゃる方があやあって、すごく素朴にいい動画だなと思って拝見していたので、ああいうのをたくさんしていただいたら、見たいなと思いました。

以上です。

【小林議長】 ありがとうございます。今の鈴木委員のご意見に対して何かございますか。

新今宮ワンダーランドに関して、ちなみに新今宮ワンダーランド2024と書かれているものに関しては、これはまち歩きではなくお祭りですんで、まち歩きも通年通して皆さんご参加いただいた方もいらっしゃると思うんですけれども、実施しております。

エリアであったり、場所的にどうしても写真は撮れない場所もあつたりするんですけれども、撮れる場所もたくさんあつたりするので、ちょっとその案内を運営団体に、もっと丁寧にするように伝えていきたいなと思いますし、素材を置いておくというのもすごくいい案だなというふうに思ったので、それも伝えておきます。

ただ1点、気をつけたいこととしては、結構いわゆるあいりん地域の支援団体の現場にも入っていったりする中で、それをSNSに上げてしまうとスラムツーリズムという、少し差別的な表現活動につながってしまうおそれがあつたりするので、そのあたりをどう何なのか、何でもかんでも上げていいわけではないけれども、上げてくださいねという案内を作っていくのも大変なのかなというふうには、やっけていて思ったりはしますね。

ほかございますか、この資料、議題に関しまして。お願いします。

【庄野委員】 西成の文化観光振興事業の中の大阪フィルハーモニーさん、今日ほんまに

よかったです。おっしゃるとおり、もう音が体にずっと伝わってくるような感じでね。

ほんで私も先週ですか、親子でオーケストラ体験できるやつがありまして、それは孫と行ったんですけれども、そんな中で楽器を実際に触らせてくれたり、楽器の個別の音を聴かせてくれたり、ごっつい音楽に親しむ環境を見せていただいて、ほんまにもう孫も喜んで、私も幸せな気持ちになりました。

そんな中で、こんな小学校とか中学校の出前授業もそういった形でやっておられると思いますけれども、本当にいいことだと思うんでもうそれを伝えたくて、ありがとうございます。

【小林議長】 ありがとうございます。ちなみに、宮本委員はどうでしたか、フィルハーモニーは。

【宮本委員】 今日、うまれて初めてああいう練習風景を見学させていただいたんですけれども、いや、私、クラシックファンとしたら、こんなうれしいことはありませんでした。せっかく西成に、ああいうすばらしいホールがあるわけですから、もうちょっと活動していただいて定期的に演奏会などを、昔は定期演奏会をやっていたみたいですけれども、やっぱりどこかのえらい市長が来てからおかしくなりましたんで、なかなか残念でしたけれども。今日はこんな機会を与えていただいて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

【小林議長】 ありがとうございます。

私も小学校のときに、大阪市内の小学生って何か森之宮で定期的にオーケストラを聴かせてもらっていた関係で、それ以来ぶりに聴けたのでちょっと感動しました。あと何か私服で皆さんが弾いているのがすごいこう新鮮でよかった。なかなか見ることのない光景だと、面白いなと思いながら、バックステージツアーみたいな感じで楽しかったです。ありがとうございました。

ほかご意見ございますでしょうか。よろしいですかね。

区役所から提案のありました議題は以上でございます。

その他といたしまして、事務局より何かございますでしょうか。

【得能総務課長】 特にございません。

【小林議長】 承知しました。委員の皆様よろしいでしょうか。ほかにご意見、ご質問であつたりありませんか。

貴重なご意見を承りましてありがとうございました。本日の区政会議の議事は以上でこ

ございます。長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。

それでは、事務局へお返しいたします。どうもお疲れさまでした。

【西川区政推進担当課長代理】 小林議長、どうもありがとうございました。委員の皆様どうもありがとうございました。

それでは、私のほうから数点ご連絡をいたします。

今回の議事録につきましては、おおむね30日後をめぐりに区のホームページに掲載し、公開する予定となっております。よろしく願いいたします。

本日お配りしております意見票につきましては、何かご意見がございましたら、8月13日までにご提出いただきますようお願いいたします。

また、次回の区政会議は、全委員にご参加いただきます全体会を予定しております。日程は10月初旬を予定しておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。約1か月前にご案内を送付いたしますので、出欠を事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第2回にぎわい部会を終了いたします。

皆様、長時間にわたりご協力いただきまして、誠にありがとうございました。